

1年次社会科の授業風景 — 緯度と経度を学ぶ —

今号では、5月2日（水）に見学した**1年次（中1）**の**社会科**の授業を紹介します。担当は、1年次主任の**岡野英輝先生**でした。

私が着目したのは、2人に1台の**地球儀**です。生徒たちは、4000万分の1の地球を実感しながら、緯度と経度のしくみを学んでいました。さらに、**地図帳**でも学ぶことによって、3次元の地球儀と2次元の世界地図を比較していました。

本校では、**ICT教育**にも力を入れており、iPad等の**タブレット**を活用した授業も展開しています。一方、実物教材の使用など、アナログで3次元を意識させる授業も大切にしています。今日は地球儀でしたが、このように各自が**3次元を体感**しながら、**感性**を磨く授業も**AAL（アート・アクティブ・ラーニング）**だと思います。

私は、教育はアナログの部分をおぼえてはいけないと考えています。実は、私の提唱している「**アクティブ・ラーニング**」は、デジタルではなくアナログの部分が多いのです。

今日は、1年次生の**キラキラ輝く目**を見ることができて、とても幸せでした。ぜひ、この学舎で、**アクティブラーナー（能動的学習者）**に成長して欲しいと思います(^_^)。

